

やいた未来ミーティング（子育て世代）会議録

日 時：令和元年8月22日（木）

19：00～21：13

場 所：矢板市生涯学習館

出席者：市長

東小学校PTA役員 6名

1 開 会 19：00 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

平成28年7月から2年間をかけ、矢板市内65行政区で「未来づくり懇談会」を行った。1,100名を超える市民の方から意見や要望があったが、参加者の8割は60歳以上という状況であった。それを受けて平成30年度は「未来づくり懇談会」を補完する形で、子育て世代や市内3つの高校生、矢板市PTA連絡協議会を対象とした「やいた未来ミーティング」を10回開催した。今年度は、小中学校単位で開催し、意見や要望を聞かせてもらいたい。

3 説明事項

「矢板市子ども未来基金の創設について」

市長

この基金を始めたきっかけは、子ども医療費助成制度の問題からスタートした。矢板市では、平成24年度から高校3年生まで医療費の無償化をしているが、無償化の方法としては、医療機関の窓口で支払い後、手続きをしてお金が戻ってくる償還払方式。

近年、栃木県内の市町では、医療機関の窓口で支払いが必要ない現物給付方式が増えてきたことから、矢板市としてどうするかを平成30年度に検討を行ったところ、同じ医療費の無償化でも、現物給付方法にすることで、矢板市の負担額が大幅に増えることがわかった。

理由としては、病院に行くほどでもない病気等であっても受診してしまう医療のコンビニ化や、国の負担金や県の補助金の減額がある。また、他の医療費助成制度を利用しなかったり、各種健康保険の付加給付が受けられないなどがあった。他にも小中学生など加入している、日本スポーツ振興センター保険を手続きが面倒くさいと言って利用しないなど複数の要因がある。

現物給付を行っている市町の医療費の伸びを見て試算したところ、中学3年生まで現物給付を拡大した場合には年間4,500万円、高校3年生まででは年間6,200万円も負担が増えることが確認された。

これらの要因を踏まえ検討した結果、市としては現物給付ではなく、中学3年生まで

拡大した場合の4, 500万円をもっと違った使い方にしようと、子ども未来基金を創設し、子ども子育て支援に繋がっていくような取り組みをしようと決断をした。

基金の用途については、平成31年2月から3月にかけてPTA役員にアンケート調査を実施し、1番多かった給食費の助成と4番目の小中学校の学用品購入の助成とした。2番目に多かった予防接種の助成拡充については、平成31年4月からインフルエンザの予防接種の助成年齢の拡大が1月の時点で決定していたことから除外とした。3番目の学校施設の整備や備品購入についても、具体的な内容を聞いてみたところ、エアコンの設置であった。エアコンの設置についても、1月の時点で全ての小中学校の普通教室にエアコンを設置することで決定していたことから除外とした。

本年度は、基金4, 500万円の3分の2となる3, 000万円くらいを使用する。

また、償還払い方式の利便性向上として、我々の努力不足もあったかもしれないが、平成30年度に実施した懇談会で、1レセプト500円かかるとか、申請方法が複雑、郵送申請についても意外と知られていなかったことから、平成31年4月から子ども医療費の申請書類と郵便受取人払いの封筒を医療機関に設置することとした。

償還払いは面倒だと思う方は多いと思うが、まだまだ利便性を向上できるのではないのかと思っているので、市では現物給付の対象年齢を引き上げないという選択をした。

その上で限られた財源用途を、引き続き皆さんをはじめとする小中学生の保護者の方から声を聞きたい。年度末にはもう少し広い範囲でアンケート調査をしたいと考えている。ムリ、無駄のない「矢板モデル」という医療費助成の制度や、子育て支援制度を確立していきたいと考えている。

3 意見交換テーマ

「子育てしやすいまちづくり」

市長

テーマに入る前に材料を提供したい。本年度の矢板市立小中学校5大ニュースということで、一つ目は全国学力テストで市内の小学6年生が昨年につき、全教科で全国平均を上回った。全国学力テストは、全国の小学6年生と中学3年生を対象に毎年実施をしているが、市内の小中学生は昨年度まで、県の平均はもとより、全国平均で上回ることはなかった。昨年度の全国学力テストでは、教育委員会のいろいろな取り組みが功を奏し、小学6年生の国語A・B、算数A・B、理科の全ての教科で県平均、全国平均を上回った。本年度も小学6年生は全教科で全国平均を上回ったところ。今の教育長になってから、学校での授業改善の努力と家庭学習の取り組みの成果が具体的な形になってきたと思っている。今後ともさらなる学力向上に取り組むと共に、中学3年生については全国平均を全教科で上回ったことがない状況なので、中学生の学力向上に結びつけたい。

2つ目は、全ての小中学校普通教室にエアコン設置ということで、6月末までにエアコン設置をした。

3つ目は、トイレの洋式化。平成28年の洋式化率は24.2%。県内25の市町で最下位。平成29年度に矢板中学校の整備、本年度は東小学校での工事が間もなく始ま

る。また、矢板小学校分も国の予算が付いて、年度内に整備を進めていく。

4つ目は未来基金。5つ目は、小中学校の適正規模・適正配置の建議だが、現在、計画づくりが内部で進められている。東小学校については市内で一番大きい小学校なので、吸収合併されることはない。

Q 1

保護者

矢板市の子たちの学力が低いとは聞いていたが、全国平均を上回りすごい。改めて、先生方、教育長、市ぐるみで頑張っているのかと思ったが、学力向上につながったのはなにか？

教育部長

学校と市教委と指導主事とで学校の勉強のあり方を研究しながら改善をした。1つに家庭学習ノートのコントロール。家庭での学習時間を増やすというような取り組みをしてきているのが向上につながっている。

市長

あとは、学校授業改善の努力で言えば、指導主事という教員出身者を2人から3人にした。指導主事が先生相手に模擬授業を今の教育長になってから行っている。また、サンサンルームなど、高校では習熟度別とかあるが、個別に指導した方がいいというお子さんはそういったところで勉強してもらっている。

保護者

習熟度別は行っている。三つに分けている。もう少し頑張らせたい子、できる子は少し難しい問題をやらせている。

市長

一部の学校だけだったが、全域に東小学校だけではなく広めてやっているのが最近の取り組み。

保護者

学力向上支援リーダーがいて、一人で3校くらい担当している。話を聞くとリーダーが他の先生の授業を観て、いいものは伝えて行く、改善すべきものは改善させたりしていると、リーダーの先生が話していた。

保護者

今の高校一年生の息子が小学校1年生の時、眠くなるような授業だった。先生のスキルアップは？

保護者

先生自体のレベルは上がっていると思う。ノートコンテストは家庭学習の目的はあるが、先生の参考にもなっていると聞いた。家庭学習ノートは子ども達がどういうふうにもとめていいかわからない。家庭学習ノートは自由なので。先生方がノートをみて優秀なものを参考にして指導してくれていると聞いた。

市長

教育長は教員時代、宇都宮市内の教育委員会とか県の教育委員会に行っていた。最後

は河内教育事務所の所長や県の小学校校長会の会長もやっていた。どちらかという、宇都宮辺りが行っているような早寝・早起き・朝ご飯的などところを持って来たので、今までと違った感じではあるが受入れられていると思っている。

保護者

一部だけだと思うが、私の子どもは小学1年生だが、1年生で遅くまで学童にいて、19時に迎えに行くと家庭学習の時間が全然ない。正直、親がやる気があればドリルなどを買い与えることができるが、そうではない子もいる。各家庭の個人差が出てきてしまっているのが目に付く。

市長

建前的なことだが、一番手っ取り早いのは学童保育の時間で、どんどん勉強を教えればいいと思った。学童は自分で自主学習をするのはいいが、そこに塾の先生を入れるなどは推奨されていない。学童保育は厚生労働省所管の取り組み。一方、矢板市には放課後子ども教室というものがある。これは学童保育・保育館を設置できない小さな学校で、今は豊田小と乙畑小の2校で行っている。地域のボランティアベースで支えているので、勉強をみんなでするみたいなどところがある。制約はあるが、本当は学童保育の時間を有効活用できればとは思っている。

保護者

勉強だけではなくて他の経験もあるのでは。

市長

放課後子ども教室でいろいろな経験とか体験を、地域のボランティアの人に係わってもらうのは大前提だが、それを工夫して行ければと個人的には思っている。

保護者

子どもを幼稚園の学童に入れていたことがあるが、当時は月謝の中から学童でドリルを買ってくれていた。宿題とドリルが終わったら遊んでいい方式。宿題をやるというよりも家庭学習の習慣づけだと当時は言っていた。東の学童でも今は宿題をやっている分らない部分は指導員が教えてくれるはず。

保護者

児童館は独自にできないんですね？

市長

児童館は学童とはまた違った展開をするところ。

保護者

学童でも勉強はやって欲しいが、子どもが遊ぶ所と自分の中にあると思っているので良いかなど。その後にサッカーに行ったりすると帰宅が21時、22時になってしまう。

学童によって考えが違う。夏休みは長時間預かっているのに宿題は一切やらないとか。

市長

これも施設の考え方で保育所発の学童と幼稚園発の学童で違う。分らないところがあれば教えるというくらいが学童の範囲かなと思う。

保護者

館によってそれぞれあって面白いとは思っている。

市長

夏休みの宿題は、私たちが子どもの頃にくらべて今は選択できるようになった。

保護者

家庭学習が増えた。

市長

家庭学習は重要なのでお願いしたい。

保護者

以前、ノートコンテストの審査員をした。賞を貰う子のノートは絵を使う。算数とかはせずに、社会とか理科とか違うことをやっている。イラストで華やかに仕上げてくる。

見ていると好きな科目をやっている感じで、たまに算数や漢字が入って来る。

保護者

現在、子どもが6年生。1年生の時は最初で一生懸命なのもあったが、先生が毎回丁寧にコメントをくれてすごく頑張った。その頃コンテストは無かったが、廊下に「このノートはアイデアいっぱいです。みなさん見て下さい」と廊下に吊され本人も頑張っていたが、学年が上がり、クラス替えをし、先生が変わったら「見ました」のハンコだけになった。先生が忙しいのは分るがそうなったら全くやる気をなくした。

市長

モチベーションが下がってしまった？

保護者

字も汚く、やる内容もとりあえず1日1ページ埋めればいいやになった。高学年になりコンテストが始まったが、ベースが上がらなくなってしまった。仲良しの子がコンテストですごい賞を取って表彰されて、冊子を入選者はもらえる。

市長

自分のが載っているから？

保護者

入賞した子は貰えるがその他の人には配られない。学校にぶら下げてあるが。結局、入賞者以外の人たちは参考にもできないし、興味がなければ目にもしない。

市長

入賞していた子は貰える。全員に配らないと参考にならないだろうということ。

保護者

先生も学年だよりの裏面に良いものはコピーして配ってはくれるが結局、学年だよりの見るのは親。子どもは目にしないから、やる子とやらない子の差が広がる。

市長

親御さんが目にすれば違う？

保護者

やり方の参考になる。

保護者

ノートコンテストに参加すると参加賞が出るが大学ノートだった。小学生は大学ノートを使わない、コンテストと書いてあるので他でも使いにくい。何も書いて無くて

良いので、5mm方眼の方がなにかしらに使える。

市長

分りました。学力向上の取り組みはこの辺りで、他に何かご意見あれば。

Q2

保護者

市でスポーツツーリズム推進事業を進めていると思うが、小学校の子たちも関わられるような機会をつくれませんか。自転車ならプロもいるし、合宿も県外から来ている人が沢山いるので、その人たちと交流を持つなどがあってもいいのでは？

市長

18日にヒルクライムレースが開催されたが、泉中の生徒がボランティアで手伝いをしている。小学生でボランティアまでは難しいが、中学生だと大会の運営の手伝い、高校生ではトライアスロン大会などを手伝ってもらっている。小学生はボランティアというよりも、競技をじかで見てもらおうとか、指導をしてもらうなどの取り組みは進めていければと思う。思いつくのはサイクルツーリズム。自転車でいうと那須ブラーゼン、宇都宮ブリッゼンという栃木県内に本拠地のあるサイクルロードチームのプロの自転車の乗り方など。

保護者

ブリッゼンの自転車教室は、今年、矢中で実施していた。

市長

サッカーでは11月4日に損保ジャパンが行っている、SOMPOボールゲームフェスタというものが開催される。プロの選手が指導してくれるイベントをフットボールセンターで行う予定。野球では、昨年、今年とゴールドエンブレブスの試合の後に野球教室や、たかはらマラソンの前日に実業団の選手やコーチなどがランニング教室を行った。

保護者

情報収集能力が無いからかもしれないが全然知らない。

保護者

そうではなく、小学校とか中学校に来てもらって、ふれあってもらって、今まで見たことがなくても、この間来た人が出るなら観に行こうとなる、今まで興味なかった子が参加できるようになるのかな。

市長

特別活動の授業の時間でやればいいがなかなか。今はそういう時間枠がないというのもある。また学童の話にはなってしまうが、学童の中でそういう時間を柔軟にしてもらえると一番。

保護者

学童も時間が短い。

保護者

1年生は長いが高学年は短い。

Q 3

市長

部活動、クラブ活動についてはどうか。一番児童数が多い東小学校でもクラブ活動・部活動の参加者が少ない、停滞している現状はあるか。色々あると思うが、クラブ活動でこんなふうにして欲しいというような意見はあるか？

保護者

バスケットに入っている。今年から安沢小と川崎小の子が入っている。

市長

東小学校なので矢板市内で一番大きい学校。周辺の小規模校ではチームスポーツは人数が集まらず、試合に出られない。東小と矢小と矢中は基幹校といって中核となるような小学校。私からのお願いだが、ぜひ、他の学校の子ども達も出来るだけ受入れてもらいたい。

東小学校でもチーム編成に支障を来すような面もあると思うが、野球、サッカー、吹奏楽はどうか？

保護者

吹奏楽はそのまま。各学校で行っている。

市長

各学校といっても矢小と東小にしかない。楽器がやりたいという子どもはいると思う。川崎小や豊田小、安沢小も。そういったところとうまくやっていくような姿勢で望んで頂きたい。

保護者

吹奏楽部は現在30名いるが、減ってきている。

保護者

矢小も30名くらいと言っていた。矢中は今、10数人。矢中も減ってきている。出場するのに人数の決まりがある。少ないと最低人数の枠でも出られなくなってしまう。演奏できても上に繋がる大会に出られない。

市長

市の事情として、今から3年後の2022年には、国民体育大会が栃木県で開催される。矢板市でも少年女子サッカーと青年軟式野球が運動公園で行われるが、特に、少年女子サッカーについては決勝まで矢板の運動公園で行う。すると競技のオープニングでは地元の中学校の吹奏楽部が賑やかして演奏をやって歓迎するのがある。矢板中の吹奏楽部が減ってきて、矢小と東小で吹奏楽をやっている子どもが中学校でも続けてくれれば良いがそうもいかない。なんとか吹奏楽を盛り立ててもらいたい。

吹奏楽に限って予算の話になるが、3年計画で矢小・東小・矢中で楽器を総入れ替えする取り組みをする。本年度は矢小、来年度が東。再来年が矢中の予定。

保護者

吹奏楽は小4から入る。バスケットは小1から入れるので英才教育がなされている。

保護者

バスケットも本当は4年生からだったがそうすると人数が足りないのではないから

1年生からでも入れるようにした。

保護者

吹奏楽は部活なので4年生から。バスケ・野球・サッカーはクラブチームなので1年生からできる。

保護者

それはどこの決めているのか。

保護者

バスケも野球も一切先生は関与していない。全ては保護者がやっている。吹奏楽部は先生が顧問。

市長

それは東小の決まりなのか、それとも矢板市の市立の小中学校の決まりなのか？

保護者

結局は、放課後そんな遅くまで低学年は居られないというところだと思う。

市長

矢板保育園なんかは、ふれあいコンサートに行っても遜色なくやっている。

保護者

あれが続くといい。

市長

部活やクラブで低学年を人数がたらないから、ではなく、実力のある子どもに関しては1年生でも2年生でも入ってもらえるようなのは必要。

保護者

先生達はその時間見られるか、ムリならそこは親が責任を持ってしますというやりとりのところでできたらいい。

市長

東小に関しては部活動をどこかに行き行ってやるという側ではないと思うので、いずれ市内に1つしかないとか、市内でようやく1チームとなってきたときには、矢小か東小かという話にはなってくる。

保護者

娘がやりたいと言うので見学しに行ったが、正直仕事との兼ね合いで送っていくのは難しい。例えば、学童に居るので同じ敷地内なのでご飯食べて勝手に行ってくれば、迎えには行ける。

市長

学童保育は同じ敷地にあっても別世界。3月の市P連との懇談会で話をしたが、未来基金で部活動ライナーを走らせて、小規模校の子を大規模校に送迎する仕組みがあればどうか。

保護者

それはいい。

保護者

マイナスな意見になるが、部活動に関係ない種目の教室などは、そういうのを大々的

にすると、教室がなくなってしまうのでは。実際に今、剣道教室はあぶない？

市長

今年は新生ゼロと聞いた。それなら個別の教室でも送る？

保護者

すると全部という話になるが。

市長

選択と集中で、各競技団体も全てをカバーする時代ではなくなってくると思う。

保護者

実際にバスケは勧誘をしているが、子どもがやりたくても親が送り迎え出来ない。クラブチーム化はされてきているが、ヴェルフェのように完全クラブチームではないので、結局、親がスタッフ・コーチも全部保護者やOGでやっている。子どもがいても親がムリ。しかも学校からの補助金が減っている所以で部費も年々上がっている所以で悪循環。

保護者

お金は上がるが全て自分たち。

市長

1つは学校任せではなく、学校に頼るのには限界がある。そんな中最近出てきているのは部活動を専門的に指導してくれる部活動指導員。矢板は2人。小学校ではなく中学校だが、有償で行っている。個人的に考えている段階だが、各競技団体も後継者なりジュニアの育成をやるところにはきちんと補助金を出すみたい。施設の優先順位なども含めて。そして、親御さんの負担を減らしていく。部活に入らないかの大きい理由は親御さんの負担が、いろいろ聞いた中でいくつかある理由の一つだと思う。

クラブ化すると土日は練習試合で遠くに行くとかあるが、その辺りをほどよい感じにできれば。一生懸命させたい、プロにさせたいかどうかは別にしても、それで高校を目指す子どもがいる一方で、子どもにスポーツの一つや二つと思って参加させる人もいると思うが、その辺りの温度差をどうするか。

保護者

今の親は上を見ている。自分の子どもも少ないし、昔の親は部活やっていれば良いくらいであったが、今は勝ちたいというのがあるからハマっていく。うちでは柔道をしているが他には行けない。一本に絞っているわけではないが、部活も一緒にやろうとするのでそれこそ家庭学習はいつやる？という話になってくる。

市長

子どもの数が少なくなってきて共働きも増えてきてなかなか送迎できない。部活だけではなく、剣道・柔道の話を見せてもらおうと、私は矢板の剣道教室3年生から行っていたが野球・サッカー・陸上を小学校でして、剣道教室に週1回、五級以上になると週2回行っていた。同級生でも、矢小の野球部に入り、育成会チームでも野球して、それでも柔道をやっている推薦で高校に行った。でも今はそういうのが許されなくなった。

保護者

時間が限られてしまっている。夢をみたいので一つにかけたい。昼間は部活に行って、帰宅後の夜は別のもの。

市長

ニーズが多様化しているというのは止めようがないので、それにきめ細かく対応できるような工夫が必要。なかなか正解が見つからない。

保護者

やっぱり一番は送迎だと思う。

市長

高校野球の監督が自分でマイクロバス運転して、練習試合に連れて行くという話があるが、そんなところまでやれるかどうか。財源など、どこまでできるかだが。そこは今後の研究課題にさせてもらいたい。

Q 4

市長

西小学校が3月で統廃合し、小学校の校舎で古いのは泉小。次に古いのは東小。校舎を建て替えるという予算のめどもついていない。どういう順番で校舎を整備していくのか。それに伴い統廃合の順番をどういうふうに決めていくか、というのをまさに今、教育総務課で検討しているが、特に子ども達からは校舎について何か聞いていないか。

保護者

雨漏りがひどい。

市長

雨漏りは十分承知はしている。長寿命化と最近言われるようになったが、定期的に点検をしていれば、単に古くなったから雨漏りするのではないと思う。申し訳無いが矢板市の公共施設は、造ったはいいがその後お金をかけていないのが率直に感じる。適正配置の計画だと東小学校には、豊田小学校、安沢小学校の中地区、川崎小学校のJR線の東側。東小は校舎、調理場とも老朽化している。調理場は市内で一つにするのか、今までのスタイルを続けていくのかという話もあるので、統廃合の様子を見ながらやっていく事を考えている。

保護者

1年生の教室しか見ていないので分らないが、ヒーターが窓側のど真ん中にあり、4月に入学した時に寒かった。ヒーターの前にいる子はすごく暑くて廊下側にいる子は寒い。

市長

それは多分、エアコンも併用するようになるので変わると思う。ヒーターと併用するかは分らないが、冷暖房のエアコンを設置した。

保護者

トイレ整備は洋式になるだけ？先生の働き方改革でカリキュラムが変り、掃除が週2回しかない。掃除が減ったので、とても臭い。耐えられないので鼻をつまみながら入るとか行きたくないから我慢するとか聞く。

教育部長

トイレについてはブース自体も直す。便器だけではなく床も。

保護者

和式は一切なくなるのか？

教育部長

校舎内の和式は全部無くなる。体育館はそのまま。

市長

体育館については教育的なところもあるが、東小学校の体育館が避難所になったときに子どもだけではなく、高齢者の方も考えなければならない。少し時間をもらって防災などの面から予算取りをして整備出来ればと思っている。体育館にもエアコンという話もある。体育館こそだという話もあるが、矢板市の場合はどうかと思うが。

保護者

現在、体育館は扇風機を6つくらい回している。

保護者

体育館の床はワックスをかけなくなったのはどうして？

教育部長

文科省の方から、ワックスをかけて転倒して怪我をしたというのがあり、ワックス禁止のお達しが来た。

保護者

他の学校もかけてはいないのか？

教育部長

かけていない。

保護者

東小は木が白くなってしまい、テープも剥がれている。バスケットで東小の体育館には呼べない。滑って危ない。来てもらって怪我されたら困る。今度は安沢小を借りてやる。私たちの子どもはそこで練習をしているので本当に良く転ぶ。他の体育館はキュツと音が鳴る。生涯学習課の方に言ってはみたが、そういうお達しがあると。

市長

それは、東の体育館が古いから。安沢は校舎も体育館も新しい。

保護者

床が滑るというのであれば。

教育部長

床を張り替える。

市長

床を張り替えるというのはまたお金がかかる。東小学校については大規模な改修は統廃合のタイミングを見ながら改修できればと思っている。体育館と言うと市の体育館をどうするのかという話もある。

保護者

矢中のプールは？

保護者

中学校ではプールを使わない。

市長

プールの授業は運動公園へバスで1回だけ行く。

保護者

プールはやらない方向にあるらしい。

市長

矢板運動公園のプールも老朽化している。市民の皆さんから言われるのは、体育館を建て直して、2階が体育館で1階がプールというような提案をもらう。

保護者

ゴミ焼却場のところにプールができる？

市長

プールではなく温浴施設。泳げるところまではいかない。ただ、小中学校の統廃合もそうだが公共施設は今までそれぞれ一つの目的しかなかったが、機能の複合化を言われている。体育館で言うと体育館と武道場をセットにし、剣道場は普段は2面、大会時4面できるなど。例えばフットボールセンターの残り1/3の敷地に大きい体育館を作って、東小の部活は新しい体躯館でやってもらうなど。

保護者

塩谷中の体育館みたいな？

市長

塩谷中の体育館みたいなもの。ただ、そこにチームの複合化という工夫も必要。先ほどプールの話が出たが、子どもの遊び場について何かあれば。

保護者

市営プールはよく利用している。他とくらべることはしない。安いから。

保護者

群馬に行ったり、さくら市行ったり大田原の室内プールに行く。プールが好きなので年中行ける近くの施設に行ってしまう。地域の元気なおばちゃんも毎日来ているからここは元気だという施設があればいい。

市長

以外と年配の女性からプールを造ってくれないかと話をされる。

保護者

大きなプールではなく、喜連川の温泉の歩けるようなものは。

市長

安沢の焼却施設が9月29日にオープンするがその余熱利用でプールが造ればよかったが……。これは一つ課題。

子どもの遊び場はどうか？この前の新聞に載ったが、元の矢板健康福祉センターの建物を取得して、子どもの広場を持ってこようかと考えている。子どもの広場の規模を少し拡大し、同時に子ども子育ての相談支援なども。例えば発達障害のあるお子さんの相談支援室や児童館など。矢板児童館と東児童館は利用者が少なく、年間100人、200人単位。さらには、中学高校生向けの学習室みたいなものの整備など、まだ構想の段階だが、活用を考えている。この施設は施設面積4,100㎡、建物は千何百㎡あり、

4, 200万円を買う。駐車場も広い。

保護者

木育なども。たかはら森林組合もあるので、トコトコのような明るく高いようなものよりは暖かいものを。

市長

そうですね。特徴を持たせたものができれば。

保護者

違う市隣の市から逆に来てもらえれば。

保護者

ボールプールで未就学の時はすごく行きやすかった。小学生になると小さい子が多いため遠慮するようになった。

市長

幅広い世代に対応した遊び場となると、居抜き形では限界がある。今回も居抜きだが、もう少し広い面積を確保し、知育玩具なども置いてあるような施設にできればいい。

保護者

ボールプールはなくなる？

市長

ボールプールはそのまま持ってくる。

保護者

あその場所がいいという話を聞いた。施設の方に話を聞いたら駅近なので、そこを集合場所にして西那須野・さくら市から集まってくるお母さん達も居るという話を聞いた。

市長

ただ、利用者は以外に少ない。

保護者

トコトコよりは行きやすい。

保護者

トコトコの方へ行ってしまおう。

市長

トコトコは元々4、5階が抜けているので高さがある。今回も高さは取れないが、今までよりは広くとれる。

保護者

武道館を新しく建てれば隣が広いからいくらでも。

市長

多機能化・複合化という話をしたが、武道館も平日の午前中は全く使われていない。例えば、平日午前中に武道館でエアロビをすとか。また、柔道場は広域避難所にいい。ご年配の方にも畳が敷いてある。

市長

多機能化の課題というのはそういうところ。ただ、先ほど言ったように矢板健康福祉

センターの敷地を取得し、隣接となる武道館も昭和50年代半ばで老朽化はしているが、一体的に使っていただけるような工夫は必要だと思っている。

Q 5

保護者

子ども未来基金の話で、医療のコンビニ化などもあってこのシステムになったと思うが、1年間医療にかからなかった場合、健康祝金みたいなものはどうか。直に自分に返ってくれば面白いかな？そうすればお年寄りも頑張ろうとか。

市長

岡山県の笠岡市で、お年寄り向けで、国民健康保険加入者だけだった気がするが、そういうのも必要かもしれない。健康増進課が担当なので話を繋いでみたい。

Q 6

保護者

この前、城の湯温泉で「檻の中のライオン」の講演会があった。憲法は誰のためのものか、誰が守るのか、結局、憲法を守るのは国民だと思っていたが、そうではなく、99条に書いてあるが、先生達が受ける勉強とかも、うやむやにされてそこはテストに出ない。私達も話を聞いてこれは今の小中でしっかり勉強しなくてはいけないこと。小学校、中学校で学んできたがそれだけでは足りず今になって政治に興味があるわけでもないし、国会も足の引っ張り合いをやっていると感じる。今の子達が大きくなった時にますます考えなくなるので今後世の中どうなっていくのか。しっかり小学校中学校で勉強していかななくてはいけないところ。

市長

「檻の中のライオン」は中学校の副教材になった。

保護者

講師の方の費用も安いらしいので、矢板の子達全員にきいてもらいたい。

市長

投票権も18歳になった。主権者教育の一貫という位置づけなのかなという気がする。

Q 7

保護者

学力は上がっているが体力テストは下がっていると聞く。昔と今では結果の差がある。今のお年寄りは若くて元気。今のお年寄りは子どもの頃に野山を走り回ったり、畑仕事で基礎体力がある。それを考えると今の子達が今のお年寄りの年代になった時に心配。

この間、矢板公民館主催の親子ふれあい活動があったが、遊びの中で知らず知らずのうちの出来たものが、今の子ども達は何も出来ない。私が小さい頃は言わなくても逆立ちや鉄棒をやっていたが今の子達は逆上がりが出来ない。この前校庭で遊んでいる子達がいたので何人かに逆上がりが出来るか聞いたが、小学校3年生でできない子がいて驚いた。遊びも時間も無いというのもあると思う。息子に逆立ちしてごらんと言っても一

連の流れが出来ない。この前のふれあい活動では、遊びの中でというのがあったので、そういうのをどんどん取り上げていっていったらと思う。

市長

子どもの体力については、矢小でも指摘があった。学校の体育の授業は大丈夫なのかとあったが、体育の授業は他の市町に比べて遜色ないと思う。

保護者

体力は学校だけではどうにもならない。

保護者

幼稚園や未就学のうちにやると出来るようになる。小学校に上がる前の段階でたたき上げをしていかないとスポーツに関してはいけないと思う。

市長

保育園・幼稚園だと市の方で関与出来る余地があれば良いが。

保護者

小学4年生の子がいるが、習い事が無い日は、友達と遊ぶが天気がよくても自宅。公園に行っても遊具はあるが小さい子がいるし砂場で遊ぶような歳でもない。長峰公園へ行っても間が持たない。広場みたいな公園はあるが何もなくて結局ゲームになってきてしまうので、もう少しアスレチック的なものがあれば子ども達が遊ぶのもいいし、体力も付いていくのでは。

市長

どこの公園にもというわけには行かないが長峰公園の規模。全体の計画を遊具でも老朽化しているものなどいろいろあると思うが、そこの見直しに本年度から着手したところ。ゾーンの的には小学校4年生？高学年くらい？

保護者

高学年は遊ばない。

保護者

鬼怒川のグリーンパークに行くと結構大きいお兄ちゃんお姉ちゃんもいる。

保護者

遊具を新しく造るとお金もかかるし、メンテも大変なので自然をそのまま利用している施設を見た。安全面が心配になってくるが。福島県の猪苗代で週末に学童をやっている人が管理者みたいな感じで、自由にハンモックやターザン、ツリークライミングをやったりというようなものを行っている。

保護者

ツリークライミングはやっている。

市長

遊具だけではなく、ツリークライミングだと指導者とか人の貼り付けをしなくては行けない。

保護者

そんなこともあると言うことを是非。

保護者

公園が出たので、草をどうにかして欲しい。けやき公園でラジオ体操をやっているが、一画しか出来るところがない。

市長

けやき公園。分りました。

Q 8

保護者

ただの情報提供だが、千葉の図書館で読書通帳を作ったら読書率が上がったというのをテレビで観た。そういうのも面白いな。

保護者

今の中学校3年生が5年生の時に全国テストの中で秋田県が一番であった。ただ、私が思ったのが、秋田県が一番なのに、なぜ過疎化が進むのかと。成績が上がっても、人を引き止める政策をお願いしたい。

市長

秋田県については学力上位ながらも県庁所在地の秋田市でさえ消滅可能性自治体という位置づけになっている。勉強が出来ると外へ行って一端外へ出ると戻って来ない。高校生になったり、大学生になったりすると、どうしても市外で勉強をしてもらわないといけなくなるが、将来戻って来てもらえるような政策もしっかりしたいと思う。

6 閉 会 21:13